

令和8年度木更津市郷土博物館金のすず協議会 第1回定例会
議事録

- 1 開催日時 令和8年5月31日（日）11時00分～12時30分
- 2 開催場所 木更津市郷土博物館金のすず
- 3 出席委員 高崎芳美・立野晃・山田俊輔・木村高士・中西綾子（敬称略・順不同）
- 4 出席職員 廣部昌弘教育長・松本明子館長・寺原進係長・依田あゆ美主査
- 5 傍聴人 0人
- 6 議 事 報告1 令和7年度事業・決算報告について
報告2 令和8年度事業計画・予算について
企画展「中尾彬コレクション展 ～版画の世界～」スライド説明
その他

寺原係長： ただいまより令和8年度木更津市郷土博物館金のすず協議会第1回定例会を開催いたします。本日は委員5人のご出席をいただいております。「木更津市郷土博物館金のすず協議会運営規則第8条第1項」により会議は成立しております。また、「木更津市審議会等の会議公開に関する条例第3条」に基づき、本会議は一般公開となっておりますが傍聴人は0人です。

それでは会議開催にあたり、立野委員長よりご挨拶を申し上げます。

立野委員長： （立野委員長挨拶）

寺原係長： ありがとうございます。続きまして、廣部教育長よりご挨拶申し上げます。

廣部教育長： （廣部教育長挨拶）

寺原係長： 続きまして、委員の皆様より自己紹介をお願いいたします。

（各委員自己紹介）

寺原係長： ありがとうございます。続きまして、職員の紹介をさせていただきます。

（松本館長、依田主査、寺原係長挨拶）

会計年度任用職員は、フルタイム勤務2人、月18日勤務2人です。令和7年度と同様の職員、館長以下合計7人で運営してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

寺原係長： それでは、これよりお手元の会議次第により協議会を進行させていただきます。

「木更津市郷土博物館金のすず協議会運営規則第8条第2項」により「会議の議長は、委員長が行う。」とありますので、立野委員長には議長として、この後の議事進行をお願いいたします。

立野議長： それでは、議長として議事を進めさせていただきます。

報告1「令和7年度事業及び決算報告について」事務局より説明を求めます。

寺原係長： では、令和7年度の事業・決算概要をご報告いたします。（スライド使用）

まず全体的な概要ですが、当館の令和7年度のスローガンは、「郷土愛 羽ばたけ未来へ 金のすず」といたしました。市民の皆様には博物館で、木更津の歴史等を知っていただき、木更津の郷土愛を育んでいただくという思いを乗せたも

のです。展示活動については、博物館本館では特別展1回、企画展2回を開催いたしました。旧安西家住宅では、写真パネル展2回と、自撮り用カメラスタンドの試験設置を行いました。

教育普及事業については、旧安西家住宅では、きさらづ文化財ガイドボランティアの会と連携して、小学3年生の昔の暮らし体験学習として、かまど・石臼・いろり・行灯の体験、展示解説を行いました。また、職員が午後常駐しました。

その他として、生涯学習課のきさらづ市民カレッジと共催し、講座の開催、貸出や画像等の特別利用、公民館や学校への講師派遣、博物館実習等を行いました。

施設的环境整備については、博物館本館では、防犯カメラの更新、旧安西家住宅では、防犯カメラ・緊急通報装置の新設を行いました。また、畳の表替えや襖の張替えを行いました。

職員体制は、館長が初めて正職員となりました。また令和7年度は、副館長職はなくなり、係長職が置かれました。学芸員は館長はじめ3人です。会計年度任用職員は、パートタイム2人、フルタイム2人、合計7人で博物館の管理運営に当たりました。

次に各事業の概要についてご説明いたします。展示活動ですが、常設展示は、写真パネル展終了後、昭和20・30年代と、昭和60年代の木更津駅周辺の同じ場所の風景写真を展示しているコーナーに、現在の写真と、撮影場所の地図パネルを追加して、昔と今の対比をよりわかりやすくしました。

また、金鈴塚古墳に関する展示室に2次元コードを掲示し、文化課が作成した、既存の解説資料をスマートフォンなどで見られるようにしました。既存の解説資料には、英語等、多言語の文字解説も含んでおります。

次に、企画展等については、年度を跨ぎ3月22日から5月6日に開催した企画展「浮世絵にみる上総・安房」では、上総・安房地方を題材とした歌川広重や葛飾北斎などの作品15点を展示した他、浮世絵の多色刷りの表現を体験するワークショップやギャラリートークを行いました。観覧無料で、観覧者数は3,791人でした。

次に、6月14日から7月6日に旧安西家住宅で開催した写真パネル展「懐かしの学び舎」では、木更津を中心に、明治・大正・昭和の学校の様子を、写真パネル15点で紹介しました。観覧無料で観覧者は、419人でした。

続いて、7月19日から8月31日に開催した企画展「木更津高等女学生が描いた戦争と平和」では、戦後80年に関連する展示として、木更津高等女学校の生徒が、昭和20年の出来事を絵と文で描いた「回顧昭和廿年」などを展示した他、講演会やギャラリートークを行いました。観覧無料で観覧者数は1,600人でした。

次に、10月25日から12月7日に開催した特別展「YAYOIの木更津」では、木更津周辺地域を中心に、弥生時代の遺跡を紹介した他、複製品を含む千葉県内

で出土した小銅鐸全9点を展示しました。観覧料は一般300円で、観覧者総数は、963人でした。また、関連イベントとして、旧安西家住宅でのパネル展示「考古学事始め1 縄文時代と弥生時代はどう違う?」、講師の先生お招きしての講演会、本物の土器に触れる土器観察会、エントランスにて当館にて簡易的に作製した貫頭衣を試着して写真撮影ができるコーナーの設置、ギャラリートークを行いました。

次に、木更津市立富来田公民館（現地域交流センター）で10月から開催している出前展示「望陀布と材料のカラムシについて」では、パネルなどを展示しました。こちらは観覧無料で観覧者数については未集計となっております。

最後に、3月20日から5月6日に年度を跨いで開催しました企画展「中尾彬コレクション展 ～版画の世界～」では、木更津市出身で、俳優の故中尾彬氏が収集し、木更津市に寄贈いただいた美術作品の中から、版画作品11点を展示した他、ステンシル版画を体験するワークショップを行いました。観覧無料で観覧者数は4,354人でした。こちらについては後程スライドでお見せいたします。

続きまして、調査活動については、写真の整理作業を継続して実施している他、木更津市役所朝日庁舎の移転に伴う記録写真の撮影、市内寺院での大般若經典転読会の撮影を行いました。

次に、管理ですが、資料管理については、第1収蔵庫、新収蔵庫の整理を行いました。既存資料としては、市指定文化財「木更津船之由緒書」他、9件を受け入れました。寄託資料としては1件を更新しました。

環境管理については、文化課予算にて新収蔵庫の燻蒸を行いました。

次に、教育普及活動ですが、博学等連携事業については、8月に博物館実習を行い、3大学3人が参加しました。また学芸員が講師となって出前講座を年間で合計8回行いました。また、市内の小学校を中心に、団体見学等を受け入れました。小学校は小学3年生の校外学習が主体でした。資料の貸出につきましては、特別展や企画展に展示する資料の借用をはじめ、他館への貸出、撮影許可や写真の提供等特別利用の対応をしました。

次に、SNSによる発信については、Xのフォロワー数は5月26日時点で、約458となっており、1年前と比べて80人程度増えております。

次に、主催事業の講座等についてですが、「きさらづ歳時記」として、端午の節句、七夕、十五夜、ひな祭りを実施いたしました。これは、旧安西家住宅の佇まいを活かして、鯉のぼり、五月人形、七夕飾り、ススキ、ひな人形などを展示して、年中行事を実施することで、来館者が季節を感じながら、伝統文化に思いを寄せる機会とし、継承を促すことを目的としております。

また旧安西家住宅では自撮り用カメラスタンドを試験設置しました。

次に、夏休み体験講座については、博物館実習の課題も兼ねて、8月に勾玉作り教室を開催し、児童10人の参加がありました。それと併せて清和大学短期大学部の先生と学生たちにご協力をいただきまして、幼児・低学年向けの勾玉風ア

クセサリーづくり等のコーナーを設けて同時開催といたしました。

次に、郷土文化伝承体験講座ですが、博物館友の会はたおりサークルの協力を得て 10 月にはたおり講習会を開催しました。また、12 月には正月飾り作り教室、1 月には味噌作り教室を、旧安西家住宅で開催しております。

次に、古文書講座については、8 月から 11 月に開催し、千葉市立郷土博物館に所属し木更津市史編集委員の大関氏に講師を務めていただきました。館蔵史料等を用いて入門編・初級編を各 3 回、計 6 回開催し、実人数で入門編が 26 人、初級編が 27 人、合計で 53 人の方に、ご参加をいただいております。

その他、旧安西家住宅の利用状況に関しましては、令和 7 年度は、市内、市外の各々来館者が、半日利用ということで合計 2 回の利用がございました。

また、その他協力事業等として、関東考古学フェアスタンプラリーに協力した他、千葉県文化財課が担当しておりました「千葉の古墳まる分かり千葉県内重要古墳詳細分布調査報告会」に、千葉県金鈴塚古墳出土品に関するパネルを提供し展示いたしました。

そして、ミュージアムグッズとして、アクリルピンバッチを、3 種類、1 種類各 100 個製作し、6 月からカプセルトイにて 1 個 400 円で販売して 2 月に完売いたしました。

続きまして、協議会などに関してですが、本協議会の他、君津地方公立博物館協議会（木更津・君津・袖ヶ浦市の公立博物館による協議会）、千葉県博物館協会（県内の博物館等が加盟している協会）、日本博物館協会（国内の博物館等が加盟している協会）に加盟をしております。

君津地方社会教育研究会（君津地方 4 市社会教育職員が研修を行う会）においても活動しております。

続きまして、友の会は、令和 7 年度の会員数が 44 人で、サークル展、はたおり講習会でご協力をいただく等、活動しております。

次に、きさらづ文化財ガイドボランティアの会は、旧安西家住宅でのガイド業務、小学 3 年生の昔のくらし体験等の活動をしていただいております。令和 7 年度の会員数は 24 人となっております、令和 7 年度には新たに 3 人の方が入会されております。

最後に、令和 7 年度の入館者の推移については、利用者総数 1 万 4,056 人で、その内博物館本館観覧者数は、1 万 2,128 人となっております。博物館本館の 1 日の平均観覧者数に関しましては、令和 6 年度が 37 人、令和 7 年度から 42 人と 5 人程度平均人数が増えております。

令和 7 年度の事業報告については、以上となります。

立野議長： ありがとうございます。ただ今、事務局からの説明がありましたが、ご質問、ご意見等ありましたらお願いします。では、私の方からよろしいですか。

1 点目は資料写真の整理をされているということで、これはどういう内容の写真を整理されておられるのでしょうか。2 点目は、収集資料の中に、これ多分件数ですよね。

1 という数字があるのは、例えば緑十字機、軍機関係資料、木更津高等女学校関係資料が1件ということですが、おわかりになる範囲で、それぞれの資料群の概要とそれから大まかな点数がわかればということでお願ひします。

寺原係長： はい。まず、写真の整理に関してですが、昔の町並みの写真等でございます。昭和等、近現代の写真になります。

立野議長： 紙焼き(プリントor 印画紙)ですかフィルムですか。それはまとめて何か個人から寄贈されたものとかそういうことですか。

寺原係長： はい。こちらの写真ですが、千葉県立上総博物館から、平成20年に移管を受けた際にいただいた資料で、エクセルでの表は作っていたのですが、エクセルの表と写真を結びつけて活用しやすいようにするために整理をしております。

依田主査： 町並みの写真ですとか、漁業の関係や、あとは戦争の関係というような、各所にわたって集めた写真を、順次、整理化しております。写真だけではなく資料台帳ごと整理をして活用しやすいようにしております。

立野議長： そして、寄贈された資料に関して、ひな人形段飾りについては「1つ」ですか。

寺原係長： 1点です。

立野議長： 市指定文化財「木更津船之由緒書」他、この文書を中心とした資料はいかがですか。

寺原係長： こちらは、今、文化課と一緒に台帳を作成しているところで、正確な点数は申し上げられないので「一括」ということになり、大きい茶箱1箱程度のものになっております。

立野議長： それこそ、これは未整理ですか。従来どこかが整理していたものではなくて、全く未整理のものが、出てきてそれを寄贈いただいたということですか。

寺原係長： 以前、県の調査団の方が少し調査をされていたようですが、全体的な整理については、現在実施しております。

立野議長： 近世資料でしょうか。

寺原係長： はい。木更津船之由緒書をはじめとした江戸時代以降の資料ということになります。

立野議長： 緑十字機関連の写真についてはいかがですか。

依田主査： 戦後70年の特別展の際に1度、緑十字機の研究をされている方から、ご提供いただきました。その後、同じ方から、アメリカのオークション等で、当時の写真を購入され、その写真のデジタルデータを、博物館事業に活用してよいということでいただきました。今回新たに購入し寄贈を受けたものを含めると135点近くいただいております。

また、市内個人の方からいただいた書籍に関しては、昭和40年代ごろの木更津市の動態図の他、商工会議所が出している40周年記念誌、海軍関係資料です。海軍関係資料ですが、他に教育活用資料といたしまして、止水栓を寄贈いただきました。

また今回、戦後80年の企画展の記事を見てお声掛けをいただいた方がいらっしゃいました。今回の木更津高女の展示に関連して初代の卒業生が持っていらしゃった硯箱。中の硯はないのですが、箱に卒業記念の文字があり、また写真を2枚のうち、1枚は原品、もう1枚はデジタル画像としていただきました。

立野議長： はい、説明ありがとうございます。私共もそうですけれど、展示をいたしますと、やはり、こういうものも資料なのかということで、展示中、或いはその後にご寄贈いただく

ことがあります。非常に貴重なものをいただきましたと思いますので、ぜひ今後、ご活用いただければと思います。皆さん、他にいかがでしょうか。

高崎委員： 今年 3 月に NHK「美の壺」で郷土博物館金のすずで展示されている金鈴塚古墳出土品が放映された後、反響や問い合わせがありましたか。また、県立木更津高校のスーパーサイエンスハイスクールとの連携講座ですが、これは、出前講座で派遣依頼されて話したと思いますが、木更津高校側の体制は、生徒の自由参加だったのか、それともいくつかいろいろな講座があってその 1 つだったのか等、中身も含めて教えてください。

寺原係長： まず「美の壺」の反響に関してですが、見ましたと言う方がいらっしゃいました。また、1 万円で販売している金鈴塚古墳出土品再整理報告書がいつもより少し売れているように感じております。

木更津高校の出前講座に関しては、令和 6 年度には高校へ行かせていただきましたが、令和 7 年度では博物館に来て、博物館や学芸員のことについてお話をさせていただいた後、展示室へ行って解説付きで見学していただきました。木更津高校がどのように利用しているのかについては、総合的な探究の時間にいくつかある講座メニューの 1 つとして学芸員に興味がある生徒のキャリア学習的要素を踏まえて 10 数人程度が選択・参加していただいております。

立野議長： 他にいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

ないようでしたら、引き続きまして、報告 2「令和 8 年度事業計画及び予算について」事務局からの説明を求めます。

寺原係長： 令和 8 年度の事業計画についてご説明いたします。まず、今年度のスローガンは、「見よう 触れよう 楽しもう」です。博物館に来ていただいて、色々見ていただいたり、ワークショップなどを通じ触れていただき博物館に親しんでいただきたい、お越しいただきたいという思いを込めております。

概要については、特別展 1 回、企画展 2 回を実施予定です。この企画展 2 回のうち、1 回は年度を跨いで開催した「中尾彬コレクション展 ～版画の世界～」になります。

また、旧安西家住宅を会場にした事業として今年も写真パネル展を計画している他、新たな事業として 6 月 28 日に浴衣着付け体験を予定しております。その他学校などの団体の体験学習の受入、各種講座の開催、ミュージアムグッズや出前講座の拡充を計画しております。

各事業の概要について説明いたします。文化課の予算になりますが、旧安西家住宅の屋根の養生工事、茅葺屋根の上に、シートを張るという工事をこの夏に計画しております。その同じタイミングで営繕課の予算になりますが、旧安西家住宅の電気設備改修工事ということで、電気配線、分電盤、照明等を交換する作業を予定しております。博物館本館 1 階荷解室のシャッターの修繕については、先日、営繕課の予算で終了しております。

次に環境整備に関しては、例年通り、年度末に植木等の剪定を行う予定となっております。

次に資料保管管理に関しては、収蔵庫等の資料整理ということで、別の場所に置いて文化課が調査している資料があり、その資料を博物館に戻すという作業がございます。そちらに向けて整理をしていくということを計画しております。

また、借用、特別利用、図書を受入等は、例年通り行ってまいります。常設展示の改良は、毎年のもものになります。

特別展示については、こちら 6 月補正となり、開催要項のとおり、木更津市内の指定文化財展ということで、計画しております。期間は 11 月 3 日から 12 月 13 日、観覧料は無料を予定しております。令和 7 年度の特別展が一般 300 円という形でしたが、令和 8 年度の特別展については、観覧料無料ということにして、よりご来館いただきやすいような環境にできればと考えております。展示構成としては、まず文化財について簡単に説明した後、市内の文化財について、展示で見せていく内容を予定しております。講演会開催予定です。きさらづ市民カレッジとの共催になり、房総の仏像をテーマに、川村学園女子大学の眞田教授にご講演いただく予定になっております。

また、関連イベントとしてギャラリートークの開催、子ども向けの解説補助、文化課と協力して金鈴塚古墳周辺の史跡めぐりを計画しております。

企画展「中尾彬コレクション展 ～版画の世界～」については、終了しておりますが、次の企画展は、3 月からゴールデンウィーク明けにかけて計画しており、絵馬に関する展示として、当館が所蔵している絵馬を展示して紹介していくという内容で考えております。

次に旧安西家住宅の写真パネル展については、7 月 11 日から 7 月 26 日に、海の日記念「もっと知りたい五大力船」というテーマで、写真パネルを使い五大力船を紹介する予定です。

また、旧安西家住宅を会場に単発事業として、6 月 28 日に浴衣の着付け体験を行う予定となっております。

調査研究については、引き続き展示に関するものを中心に、進めてまいります。

教育普及事業、こちらも例年通り博物館実習、出前講座等を実施予定です。出前講座については、弥生時代に関するものと、木更津の中世に関するものを講座メニューに加えております。

また引き続き金鈴塚古墳もメニューに含めており、市民を対象に学芸員が講座を行うことになっております。

主催事業については、古文書講座、はたおり講習会・正月飾り作り・味噌作りを行う郷土文化伝承体験講座をはじめ、きさらづ歳時記として端午の節句は終わりましたが、七夕等を予定しております。また、勾玉作り教室は、また夏に行います。昨年度までは、8 月下旬に開催していましたが、今年はお子さんがより参加しやすい時期ではないかということを考えて、8 月上旬に開催する予定です。

また、昨年度に引き続き、清和大学短期大学部の学生にご協力いただきまして、同時開催ということで幼児・低学年向けのコーナーを設置することを計画しております。

グッズ販売については、令和 8 年度もピンバッチを作り、販売する予定ですが、今回

は2種類追加し、5 種類作る予定となっております。さらに、金鈴塚古墳出土品のうち、「金鈴」の写真用いたメモパッドを作る予定となっております。グッズについては、6月中もしくは7月初め頃に提供できるように、努めているところです。

令和8年度の事業計画に関しては、以上になります。

立野議長： はい。今、事務局から詳細に説明いただきました。何かご質問ご意見等ありましたらよろしくお願いいたします。

高崎委員： 指定文化財展について、博物館が所蔵している資料を中心に展示を予定されているということですが、県指定のものは借用が難しいのですか。

依田主査： 県指定の場合、美術品輸送専用車での運搬となり、予算の都合があります。また、開館20周年に向けて曼荼羅の修復委託を予定しているため、運搬費用の確保が難しい状況です。

高崎委員： 借用は予算次第ということですね。県指定文化財の日枝神社の絵馬はどうですか。

依田主査： 日枝神社の絵馬は、資料の燻蒸の都合により、今回は入れておりません。

高崎委員： 現物をお借りしないものは、写真などで紹介はされますか。

依田主査： はい。郷土の風景ということで、写真パネルで紹介するコーナーを考えております。

立野議長： 他にいかがでしょうか。

木村委員： 2点お願いします。色々と子ども向けの企画をされているということで、ぜひ、たくさんの子どもの参加してもらいたいのですが、もし、市教委を通してPDFや電子データをいただければ、それを小学校、中学校にシグフィというメールをスマホで配信するアプリがあって、それを親御さんのスマホに送ることができます。こういう催し物がありますのでぜひご参加くださいと送ると、配信を見て面白そうだねという子が1人・2人いれば、少しでも参加者が増えると思うのでご検討いただけたらと思います。

あと2点目は、先ほどグッズ販売の報告がありましたが、博物館には何かキャラクターがありますか。

寺原係長： 特には、ありません。

木村委員： できれば、何か金のすず独自の、例えば金鈴を題材にしたキャラクターを何か作ってもいいかなと思いました。加曽利貝塚ですと「かそりーぬ」という名前の犬のデザインのキャラクターがいて、かわいいなと思います。小・中学生対象にキャラクターの募集をしても面白いです。

立野議長： 大変良い意見を2ついただきましたので、ご検討ください。

さきほどの指定文化財展ですが、木更津市内に登録有形文化財はありますか。もしあるようでしたら、それは何らかの形で紹介されますか。それから、資料で市史調査の分が返却されるということですが、富津のH家の資料は、かつて私も関わりましたが、県内の博物館で、調査、分担収集したもので、かなり貴館は多く受け入れていると思いますが、その資料でしょうか。

依田主査： 登録有形文化財は、本市にもございます。建物の関係が多いので、写真でご紹介できればと考えております。市史調査の資料につきましては、お見込みの通り富津市のH家でございます。市史の関係で、資料調査を、当館から場所を移して実施するため

持ち出しました。そちらが今回資料調査の目途が立ったというところで戻ってくることになっております。戻ってくる際に、受入保管にあたってスペースの確保が必要なため、しかるべき場所に戻せるような取り組みをしていければと考えております。

立野議長： 木更津市は確か民俗資料ではなくて歴史資料が多かったと思うのですが。

依田主査： はい。歴史資料を中心にいただきましたが、中には若潮国体の大きなうちわですとか、看板ですとか、多岐に渡る資料を持ってきましたので、それを収蔵するにあたりましても、当時資料のレスキューにあたり、とりあえず箱に入れて持ってきていますので、収蔵庫の容量の都合等で再度必要な資料かどうかを考えながら、受入れをせざるを得ないような状況になっています。

立野議長： 了解いたしました。他にいかがでしょうか。

寺原係長： きさらづ市民カレッジ共催で、本日出席いただいております山田先生に9月に埴輪についてご講演いただくことになっております。

共催することでより多くの市民の方にご講演を聞いていただく計画をしております。

立野議長： はい。ありがとうございます。よろしく願いいたします。

他にいかがでしょうか。よろしいでしょうか。それではないようでしたら、ここまでということにさせていただきます、この後はスライドですね。

寺原係長： はい。会期は終了しましたが、企画展「中尾彬コレクション展 ～版画の世界～」をスライドでご覧いただいて、ご意見ご感想等いただけたらと考えております。

立野議長： はい。ではよろしく願いいたします。

寺原係長： それでは簡単ではございますが、令和7年度企画展「中尾彬コレクション展 ～版画の世界～」の開催状況をご報告いたします。本展は、令和8年3月20日(金・祝)から5月6日(水・振休)にかけて、博物館本館第5展示室にて開催したことになります。

(展示説明)

そして、子ども向けにクイズを解きながら展示を見ていただくというような流れで、子どもにより興味を持って見ていただくような企画をしてみました。クイズの番号を作品の横に設置して、この番号の作品として見ていただくことになります。

次に、関連するイベントとして、ワークショップ「ステンシル版画でつくる、わたしの庭」の開催状況についてお伝えいたします。こちらは3月22日(日)、午前11時から12時までの会と、午後2時から3時までの会の計2回行っております。版画作家で、現在、女子美術大学と武蔵野美術大学で講師をされているチョン・ダウン先生をお招きして、5歳以上の子どもから成人を対象に、ステンシル版画技法を使ったワークショップを開催いたしました。

写真右は、型紙などの素材を参加者が選んでいるところです。参加者が素材を手がかりにして自分の想像に任せて、創造性豊かなアイデアを生み出して、作品を作っていただくということになります。内容としては、始めに先生からステンシル版画技法についての説明と簡単なデモンストレーションをしていただいた後、参加者は各自作品作りに入りました。先生には順次参加者一人一人にお声がけをいただいております。参加者の方々は作品作りをする中で励みになったのではないかと考えており

ます。

右側の写真は、参加者の作品になります。最後に、先生から参加者の作品全てに講評をいただきまして、大人の方も、子どもの方も、専門の先生から講評をいただいたということで、とても嬉しそうな表情が印象的でした。また、1つ1つ違った作品になったということも、参加者にとって、面白い経験だったのではないかと考えております。

最後に開催報告になりますが、開館日数については42日間で、観覧者数は延べ4,354人、そのうち大人が3,478人、子どもが876人となっております。1日の平均観覧者数は、103.7人となっております。

ワークショップについては、各回15人募集に対して、それぞれ15人の申し込みがありました。当日はそれぞれ13人と12人の参加人数で合計25人の参加ということになっております。以上、中尾彬コレクション展のご報告となります。

立野議長： ありがとうございます。

時期も大変よろしかったので、多くの方に来ていただいたようで、大変有意義な企画展になったかと思えます。それでは皆さんいかがでしょうか。この展示につきましてご意見、ご感想がありましたらお願いいたします。

その他で何かございますか。事務局はいかがでしょう。

ないようでしたら、本日の議題は終了といたします。議長役を事務局にお返しします。

寺原係長： 本日、委員の皆様方には、ご多用のところ、ご出席いただきまして誠にありがとうございます。当館の運営業務につきまして、ご指導、ご鞭撻を今後ともよろしくお願い申し上げます。

それでは、以上をもちまして、令和8年度木更津市郷土博物館金のすず協議会第1回定例会を閉会いたします。ありがとうございました。

会議内容については、上記の通り相違ございません。

令和8年7月7日

議事録署名人

木更津市郷土博物館金のすず

委員長 立 野 晃